

# 投 光 器

国労東海貨物協議会  
2012年11月5日  
発行責任者 鈴木 和巳

## 国労東海貨物協議会第26回定期委員会開催

11月2日（金）13時から静岡交通ビルにおいて、東海貨物協議会第26回定期委員会が開催され、委員、役員、来賓、傍聴者の25名が参加する中、「労働条件改善」「安全・安定輸送の確立」「不当労働行為根絶」「組織強化・拡大」など、一年間における闘いの経過と、組織の総力を結集した取り組みによる向こう一年間の闘う方針の確立に向け、真剣な討論を行ってきました。

委員会は、大金副議長の司会で開会し、委員会議長に四日市駅の浅野委員が選出され議事が進められました。

鈴木議長の挨拶では、一年間の活動を総括した上で、「貨物会社の現状、労働条件改善、技術継承問題、年末手当獲得の闘い、次期ダイヤ改正、組織強化・拡大」などについて報告と決意が述べられました。

来賓挨拶では、東海本部上野書記長から「国労の現状、年末手当3.5ヶ月の重要性、職場からの運動と要求の構築、原発問題、組織拡大」について、全貨協瓜田事務次長から「年末手当満額回答獲得に向けた闘いの取り組みの要請と趣旨説明、25年を経過した貨物会社が抱える問題、組織拡大及び新採加入への取り組み強化」について、静岡地本植田書記長からは日頃の貨物協議会の取り組みへの敬意を表され、「岳南鉄道を守る闘いの経過、利用者アンケート、組織拡大への決意」など情勢や現状が報告されました。交運共済静岡事業所の杉山所長から「火災・地震風水害共済への加入呼び掛け」など挨拶され、その後、加藤事務長より2011年度経過報告及び2012年運動方針（案）が一括提案され、一般討論へと移りました。



（東海貨物協鈴木議長）



（全貨協瓜田事務次長）

討論では、「組織拡大の取り組み」「出向先の労働条件改善」「嘱託社員の賃金及び労働条件改善」「65歳定年制度の問題」「異常時における臨時作業の取扱い」「掲示板の有効活用」「次期ダイヤ改正」「職場環境改善要求」など、多数の委員から報告や質問・要請などが出されました。

本部・全貨協からの答弁及び加藤事務長からの全体集約を受け、満場一致で今年度の闘う方針を採択し、決算・予算の承認後、委員会宣言を採択し、鈴木議長の力強い「団結ガンバロー」の三唱で今後の奮闘を誓い合いました。

定期委員会終了後、国労本部星野高志氏を講師に招き『JR貨物25年の検証』と題した学習会を開催しました。貨物会社発足25年を振り返り、会社発足当時から抱える「ダイヤ調整問題」「線路使用料」「長期債務と老朽化車両の継承」など、構造的な矛盾を根源とした貨物会社を巡る状況、赤字となる根柢の問題、経営自立計画の特徴と狙いなど、今後の取り組みと課題を学習し、以前から国労が提唱し会社経営側も認めざるを得なくなった『構造矛盾』の解決なくして「鉄道貨物の発展はない」ことを改めて認識すると共に、労働者犠牲の上に立った「経営矛盾」を青年労働者に伝え、訴え続けることが重要であると感じました。



（国労本部星野中執）

その後場所を移した懇親会では、全国情勢等の質問や職場の問題など熱い議論で盛り上がり、更には組織拡大に奮闘することを誓い合い、全日程を無事終了しました。

職場には問題が山積していますが、東海貨物協議会は鈴木議長を中心に運動と組織の前進を目指し奮闘していきます。

### <2012年度新役員>

議 長	鈴木和巳	52	沼津 駅
副 議 長	井上昭彦	50	静総・運輸
	大金健治	48	稲沢機関区
事 務 長	加藤広明	49	稲沢機関区
幹 事	田中敏広	54	静総・運転
	堀江秀一	53	出向・名高
	池田和義	52	出向・ロジ
	多賀 明	50	愛知機関区
	小川敏広	36	静総・運転
会計監査	井上 守	49	稲沢機関区
	西川哲英	36	静総・運転

◇1年間宜しくお願いします◇